第１４回定時社員総会資料（案）

２０２５年6月５日

於：リビングデザインセンターOZONE
５階セミナールーム

一般社団法人 日本インテリアコーディネーター協会

２０２５年度 総会式次第

１．　開会

２．　議事録署名人選定

３．　議事

第１号議案　２０２４年度事業報告（案）及び決算報告（案）承認の件

第２号議案　２０２５年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

４．　閉会

５．　会長挨拶

第１号議案　２０２４年度事業報告（案）及び決算報告（案）承認の件

Ｉ．事業報告（案）

新たな運営体制で臨んだ2024年度は、各ディヴィジョンや支部が企画したスキルアップや交流のための様々な企画が充実した一年となり、3支部合同企画のインテリア研修ツアーなど地域を超えた活動も、全国組織のiconとして大変有意義なものとなった。10月に開催されたGOOD LIFEフェア2024への参加は、多くの会員の力を集結し、対外的にも協会の存在感を示すことができた。

年度末の会員数は、正会員２９８名、賛助会員７２社(団体)であった。

ディヴィジョン、支部別の主な活動実績は以下の通りである。

１.理事会

全14回開催

第1回理事会	2024年4月4日	2024年度活動計画・予算案の検討 「第98回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2024」、 「第6回LIFE　x DESIGN」に対する後援承認
第2回理事会	2024年4月25日	2024年度役員立候補者の承認 理事の年会費免除の総会議案提出を承認
第3回理事会	2024年5月9日	2024年度社員総会資料案承認 一般社団法人建築積算協会の賛助会員継続の承認 東京商工会議所退会の承認
第4回理事会	2024年6月6日	代表理事、副会長、執行会議議長、各Div.業務執行理事の選定 顧問の選定
第5回理事会	2024年6月13日	2024年度計画の確認
第6回理事会	2024年7月4日	運営規則改定（理事年会費免除）の承認 CPD制度改定の検討、ホームページ修正の承認
第7回理事会	2024年8月1日	Div.サポートメンバー募集の検討
第8回理事会	2024年9月5日	モクコレ2024Plus 出展の承認 GOOD LIFEフェア2024出展費用の検討
第9回理事会	2024年10月3日	B会員の入会条件の確認 「第99回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2025」 「第7回LIFE× DESIGN」に対する後援承認
第10回理事会	2024年11月14日	GOOD LIFEフェア2024出展報告、IDMシンポジウム登壇者決定 中四国支部イベントへの配賦金増額を承認
第11回理事会	2024年12月5日	2025年度事業計画の検討、 トップコーディネーターの新規認定承認
第12回理事会	2025年1月9日	トップコーディネーター更新認定の承認、トップコーディネーター認定条件の変更承認。インテリアコーディネーター協会関西の一般社団法人設立記念式典への後援名義使用承認
第13回理事会	2025年2月6日	2025年度計画案、予算案の検討、AIA（愛知インテリアコーデ

ィネーターアソシエイツ）設立への応援団体登録を承認、
icon news の賛助会員への配信を承認、新規 IC 登録者への入会
キャンペーン実施を承認

第 14 回理事会 2025 年 3 月 6 日　　第 4 回オルガテック東京の後援承認

2．総合企画ディヴィジョン

第 13 回定時社員総会と全 14 回の理事会を開催したほか、一般社団法人として必要な諸手続き、事務局の円滑な運営に努めた。研究グループのとりまとめ、全国の IC、外部諸団体とのネットワーク作りを行った。

正会員支援としては、賠償責任保険および文芸美術国民健康保険関連の諸手続き、icon news 配信、Zoom アカウント管理を行った。また、フリーランス IC のための法律知識セミナー、賠償責任保険セミナーを開催、アーカイブ配信を行った。賛助会員支援としては、正会員に向けての情報配信、正会員との直接取引制度運用サポートを行った。

外部団体との協働として、(公社)インテリアデザイナー協会との共催で「あつまれキッズデザイナー2024 おやこでチャレンジ『みんなでつくる夢のまちインテリア』を開催した。 IDM（インテリアデザインミーティング）ではシンポジウム 2024「ここから」『世界の住宅リモデリング事情』に、石黒久美子会員、みねぎしくみ会員が登壇、JAPANSHOP「NIPPON プレミアムデザイン」で、飯塚奈津子会員がブースデザインを担当した。icon が今年の幹事団体として、交流会「the Night」の司会・進行を務めた。

3．広報ディヴィジョン

広報ディヴィジョンでは、①一般生活者へ、インテリアコーディネーター（以下 IC）の仕事をアピールする ②全国の IC へ、icon の活動と入会のメリットを伝え、会員増強を目指す ③会員へ、icon 活動予定を配信し参加をうながすこと を目標に、HP・インスタグラムでの活動紹介、会員へのメール配信を行った。

特に B to C のイベントである「GOOD LIFE フェア 2024」に icon が参加し、プロジェクトチームの広報活動に務めた。また、一般生活者向けリーフレット、IC 向け「icon 入会案内」を作成した。

4．ビジネスディヴィジョン

会員のビジネス支援のための「テクニカルアドバイスシステム(TAS)」の周知に努め、定期的に TAS LIVE「Zoom でお悩み相談室」を開催した。また 4 名のテクニカルアドバイザーによるスキルアップセミナーをリアル開催した。企業からの相談事をビジネスにつなげるための「ビジネス創出チーム」のメンバーを昨年度 B 会員から募集し、今年度から始動した。

スキルアップセミナーは以下の 4 回リアル開催した。

第 1 回	衛生設備編	講師：片柳 通行	協力：(株)リライン ス 賛助会員（5 月 14 日）
第 2 回	窓装飾編	講師：石田 剛	協力：トーソー(株) 賛助会員（7 月 18 日）
第 3 回	窓リフォーム編	講師：嶋村 淳	協力：YKK AP(株) 賛助会員（11 月 15 日）
第 4 回	造作家具照明編	講師：畑 忠成	協力：(株)ハーフェレジャパン（2 月 20 日）

5．能力開発ディヴィジョン

CPD 講座は各支部や Div だけでなく、研究会、認定トップコーディネーターにも協力を呼びかけ、講座を企画し、対象講座の数を増やした。インテリア英会話講座は、マンツーマン指導へと変更し、より個別のニーズに対応できるようにした。併せて上級クラスとなるアドバンスコースを新設するなど、コース構成を見直し学習の幅を

広げた。その他 TAS チームと合同企画し、TAS リアルセミナーのアーカイブを配信した。

CPD 講座

「あこがれの木を使ったインテリアの提案」企画：木づかいクラブ（7 月 24 日）

「クレームあるあるシリーズ第 4 回壁紙施工の注意点」企画：流通活性化 Div.（8 月 27 日）

「現場の納まり事例あれこれ」企画：トップコーディネーター（1 月 29 日）

「トラブル回避 IC 業務フローの再確認と新たな視点」企画：北陸支部（2 月 27 日）

「キュレーションホテルに学ぶインテリア」企画：トップコーディネーター（3 月 2 日）

インテリア英会話講座ベーシックコース(初級+中級)、アドバンスコース（ビジネス用）

インテリア英会話体験講座開催

認定トップコーディネーター

村上 英子　森山 恵　今田 百春　飯沼 朋子　北谷 明日香　土肥 君代　片山 由美子

柏原 民　上田 眞江　（９名　2025 年 3 月）

６.流通活性化ディヴィジョン

賛助会員72社とインテリアコーディネーターの橋渡し役としてイベントを企画・実施した。好評の賛助会員ショールームツアーを初夏と秋、冬の3回実施し、新製品や最新トレンドを学ぶ機会とした。また、クロスミーティング＆懇親会では会員同士の交流を深め、情報共有を促進した。さらに賛助会員と協力し、実務に即役立つ、クレーム防止セミナーやスキルアップセミナーを開催した。

■クロスミーティング＆懇親会　総会同日に実施(6月6日)

■賛助企業SRツアー　3回に分けて実施（6月7日、9月24日、1月23日）

■CPD講座　リリカラ(株)クレーム防止セミナー「壁紙施工の注意点」(8月27日)

■スキルアップセミナー　パナソニックハウジングソリューションズ(株)

「床材ご提案お悩み事解決」（2 月 5 日）

７. 支部の活動報告

【東京圏支部】（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県）

より多くの会員が icon に所属する意義や活動に参加する充実感を知る機会を生み出すため、新会員のフォローを行いながら、会員同士の交流を活性化させ、スキルアップや情報交換の場となる企画を実施した。

＜主な活動＞

・東京圏支部総会(6 月 6 日)

・役員会：月 1 回開催(リアル＆オンライン交互に開催)

＜活動内容＞

（1）　3 支部合同企画 「古都に学ぶ」インテリア 研修ツアー（9 月 11 日～13 日）

会場：近江八幡市、京都市、大阪市（担当：杉山・久保寺）

北陸支部と中四国支部の 3 支部合同企画。タイトなスケジュールだったが、支部を超えて icon 会員同士の交流を深めることができ、3 日間にわたり見学した建物・工場など、どれも内容が奥深く、とても充実した研修となった。

（2）「GOOD LIFE フェア 2024」iconTOWN 参画 インテリア相談コーナー（10 月 25 日～27 日）

インテリア相談コーナーを担当し、事前予約など PR 活動にも力を入れた。

（3）ビギナーズセミナー「新会員さんフォローアップ会」(12 月 9 日)

会場：シラカワ東京ショールーム

入会して間もない会員を対象に、icon 会員であるメリットや会員同士の交流の場として開催。会場となった賛助会員シラカワの商品紹介も交え、短時間ながら有意義な交流・学びの場となった。（担当：東谷・鈴木・久木田）

（4）会員交流 minicon「icon リアル忘年会」(12 月 9 日)

ビジネスコネクションとして、賛助会員企業と会員の交流会としての企画。新会員も参加しやすいように「新会員さんフォローアップ会」からの流れで忘年会へと導いた。その結果、フォローアップ会に参加した 11 名中 7 名の参加となり、総勢 53 名と会場が狭く感じる熱気に溢れた盛況の忘年会となった。（担当：鈴木・東谷・久木田・小笠原(妃)・村松）

（5）東京建築案内＆スマホ建築写真の撮り方セミナー(2 月 14 日)

会場：東京日仏学院（アンスティチュ・フランセ 東京）

荻外荘（近衛文麿旧宅）

築 60 年で近年新校舎を増築したアンスティチュ・フランセ 東京と、昭和初期の木造邸宅「荻外荘」を巡り、文化的背景を比較、考察しながら見学した。同時に、スマートフォンでの建築写真撮影の操作方法やポイントを学んだ。14名が参加し、一日を通して会員同士の情報交換など交流の場となった。（担当：熊倉・久保寺）

【北陸支部】（富山県、石川県、福井県）

見学会を 2 回、セミナーを 1 回開催した。見学会では、身近なところにあった今まで知らなかった魅力的で大切な取り組みをしている企業の訪問や、よく知っていると思っていた北陸の伝統工芸の奥深さと新たな進化を改めて実感するなど、とても有意義な会となった。セミナーは、IC 業務での重要なポイントを経験豊富な icon 認定トップコーディネーターを講師に企画した。また、3 支部合同研修ツアーを開催し、北陸支部からも 4 名参加し、他支部との交流ができたことは大変良かった。

＜活動内容＞

（1）3 支部合同企画 「古都に学ぶ」インテリア 研修ツアー（9 月 11 日～13 日）

滋賀(近江八幡)や京都、大阪(選択制)を巡り古都の伝統文化に触れたり、リノベーション建築を視察したりしながらインテリアを学ぶ研修ツアーを開催した。見学先は icon 賛助会員の工場など、どこも見応えがあり、参加者同士の交流や情報交換、共に同じ時間を共有する喜びがあり、貴重な経験ができた 3 日間だった。

（2）見学会・セミナー「デザインとアップサイクルの融合とは」（10 月 16 日）

SDGs をテーマに家具・雑貨をリユースする企業や不要となったタンスなどとアートを掛け合わせアップサイクルする企業を見学。セミナーの中の、「その物は変化させず良さを引き出すコーディネートすることも SDGs」という言葉が印象的だった。参加人数 7 名

（3）九谷焼絵付け体験＆見学会（11 月 15 日）

石川県を代表する伝統工芸の九谷焼について、絵付け体験と美術館見学で歴史の奥深さを感じると同時に、若手作家がインテリアをプロデュースした宿泊施設を見学し、九谷焼がアートとして進化していることに感銘を受けた見学会だった。参加者 9 名

（4）icon CPD 講座　トラブル回避 IC 業務フローの再確認と 新たな視点」（2 月 26 日）

講師：icon 認定トップコーディネーター飯沼朋子会員

ICがスムーズに仕事を進めるための業務フローや契約書の書式などを学んだ。参加者21名

（5）古民家リノベーション見学&ランチミーティング（3月7日）

築 100 年以上の古民家をフルリノベーションしたレストラン「moku」にて、1 年の振り返りと見学を兼ねてランチミーティングを開催。 対面でのミーティングは会話も弾み、古き良きものを現代に活かすデザインに取り組みたいと感じた有意義な時間だった。参加者9名

【中四国支部】（岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県）

総会や賛助会員ショールームツアーなど交流会ツアーに積極的に参加し、会員間の情報交換・賛助会員との意見交換を大いに楽しみ、皆で見識を深めた。オンラインセミナーでは会員から要望の多かった集客セミナーを開催し、実務に役立てるようビジネススキル向上を意識し活動した。また、初の一般生活者向けのイベントを運営委員全員で一致団結し、開催した。110名の一般参加者を得てiconのインテリアコーディネーターと賛助会員企業の周知に貢献するなど支部としてステップアップできた1年となった。

＜活動内容＞

（1）支部定例会での賛助会員紹介コーナー

毎月の定例会の前に時間を設け、地方会員と賛助会員企業とのビジネスの活性化を図った。

（2）集客セミナー「スモールステップで集客チャレンジ！」（8月21日）

講師：住吉 さやか会員

住吉会員が自身の体験をもとに、集客に対する詳細な戦略を惜しみなく会員に伝授、求める仕事像を具体的に決めてターゲットを絞る集客法を伝えた。

（3）3支部合同ツアー「古都に学ぶインテリア研修ツアー」（9月11～13日）

日本文化の神髄に触れながら皆で充実した時間を過ごした。中四国支部からは 4 名が参加し、他の支部の会員と寝食を共にして学び、交流した。

（4）一般生活者向け体験型イベント「インテリアを楽しむ会」（2月23・24日）

中四国支部主催として初となる一般生活者向けイベントを企画、実施した。会員のポスターを貼ったり、参加企業提供の家具などの展示物に実際に触れたり、ワークショップの体験など、お子さんからご年配の方まで幅広い層に楽しんでもらえた。icon を知ってもらうきっかけになった一方で、参加者にアンケートをとった結果、「インテリアコーディネーターはどこに頼めばいいかわからない、何をしてくれるのかわからない」といった声も多く、まだまだインテリアコーディネーターがどのような職能なのかアピールが足りないとも思えた貴重な経験となった。

Ⅱ．決算報告（案）（２０２４年４月１日～２０２５年３月３１日）

貸借対照表　（別紙）

正味財産増減計算書　（別紙）

２０２４年度監査報告　（別紙）

第２号議案　２０２５年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

Ⅰ. 事業計画（案）

昨年度に引き続き、IC の職能を一般生活者に向けてアピールすること、IC の新たなビジネスの可能性を模索すること、会員の IC としての質的向上を目指すことに注力する。具体的には、動画やSNSを活用した広報活動、ビジネス創出チームの活動の活性化、CPD 制度を始め会員のスキルアップのための講座や企画の充実を図る。また、これまで積み上げてきた組織や体制を安定して維持していくために、会員増強にも取り組み、将来に向けて運営体制の改善も行っていく。

1. 会員支援活動

会員の事業への参加率を高め、会への帰属意識、満足度を上げる。新規入会会員への意識調査、サポートを行い、企画、運営面に積極的に関わってもらえる仕組み作りを進める。

フリーランスへの支援として、賠償責任保険、文芸美術国民健康保険の制度を周知する。 インテリアコーディネーター標準契約書を作成する。理事会の運営体制を検討する。

2. ビジネスサポート、ビジネス創出活動

会員のビジネスサポートの一環としてスタートしたテクニカルアドバイスシステム（TAS）のさらなる普及と内容の充実を目指す。賛助会員企業ショールームで TAS リアルイベントを開催する。

B 会員による「ビジネス創出チーム」では、賛助会員や外部企業からの問合せやビジネス提案などを icon 内で受託可能な内容に組み立てるほか、新たなビジネスを独自に構築して、賛助会員に提案する活動を行う。

流通活性化 Div と協力し、企業が求める IC とのビジネスの可能性について調査を行う。

3. CPD 制度の充実

ディヴィジョン、支部、研究会が開催する CPD 講座の企画協力、運営のフォローをする。講座のマニュアルを整備する。icon オリジナル「インテリア英会話講座」を継続し、講師と共に今後の体系化を図る。 icon トップコーディネーターを外部に広くアピールする。

4. 広報活動

一般生活者にむけ、インテリアコーディネーターの仕事をアピールする。そのため、YouTube ショート動画を定期的にアップする。

HP の SEO 対策を意識した記事のアップに努める。支部・研究会内に HP 担当を作り、記事更新をする。

5. 賛助会員支援活動

賛助会員と正会員、賛助会員同士のつながりを深め、ビジネスに繋げられるよう、クロスミーティング、ショールームツアーを開催する。賛助会員メルマガを発行する。「直接販売制度」を B 会員に周知し、活用を勧める。賛助会員によるクレーム防止セミナーを開催する。

6. 地域会員拡大活動

北陸支部、中四国支部、その他のサテライト地域の活動支援を行う。さらに、icon のブランディング強化を図り、全国の会員増強をめざす。

7. 外部団体との協働

（公社）インテリア産業協会が実施する、インテリアコーディネーター支援事業に協力する。

（公社）日本インテリアデザイン協会（JID）とのキッズデザインプロジェクト事業を進める。

IDM（インテリアデザインミーティング）構成団体として、積極的な参画を進める。 IBMF（一社） 国際建材・設備産業協会との協働を進める。

8. SDGs 推進活動

icon の各事業を通じて、常に SDGs を意識し、内部での情報共有および外部への発信を行う。

9. 支部の活動計画

【東京圏支部】（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県）

会員同士の交流を活性化しながら、icon に所属する意義や活動の充実感を高める機会を創出する。引き続き、新会員のフォローを強化し、企画や活動への参加を促す。また、会員同士の悩みや解決策の共有を通じて仕事に活かしながら、仕事のマッチングも実施していく。専門知識を高めるスキルアップ講座や一般生活者向けのアピールも継続していく。

① 賛助会員企業ショールームツアーの企画協力（※流通活性化 Div.サポート）
② 新会員さんいらっしゃい＆忘年会
③ 会員同士の仕事紹介・座談会・シンポジウムなど情報共有の企画
④ 仕事マッチング（会員同士や賛助会員）
⑤ スキルアップ講座（外部講師）
⑥ 3支部合同研修・支部企画研修
⑦ 賛助会員と交流企画（※流通活性化 Div.合同）
⑧ フリーランス起業塾＜検討＞

＊支部役員会：毎月実施（リアル＆Zoom 交互に）

【北陸支部】（富山県、石川県、福井県）

「北陸の伝統工芸の魅力を探る」、「SDGs の勉強・IC として取り組むべき活動を考える」、「IC ビジネスにおいて必要な知識の習得・情報交換」をテーマに、IC 能力アップや会員の交流促進を目指す。

① 北陸の伝統工芸の魅力を探る
・県内の伝統工芸のイベントに参加
・見学会を開催、もしくは支部研修旅行に合わせて見学先の伝統工芸を学ぶ

② SDG s の勉強
・SDGs に関するリノベーションや取り組みについての見学会を開催

③ IC ビジネスにおいて必要な知識の習得・情報交換
・今注目の集まる「ガストロノミーツーリズム」のためのリノベーション事例見学会を開催
同時に富山県内で求められる既存建物の活用、耐震改修など建築士との協働の可能性も

④ 支部研修旅行を開催

⑤ 支部内定例会議

【中四国支部】（岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県）

AI の活用などにより近年になく顧客の情報量が増えている。時代の加速にインテリアコーディネーターが対

応すべきノウハウを中心に支部として会員をフォローするとともに、一般社会への認知を深めてゆく。会員の増減があり入れ替わりもあるので、icon の説明などを改めてする必要あり。

① 新しい素材・商品の知識向上

積極的に賛助会員との交流を図り、実際のビジネスにつなげていく。流通活性化 Div とも連絡を取り合いながら　地方でのメーカー商品の活用に尽力できる方法を模索する。

② 3 支部合同企画　研修交流ツアー（総会時に計画）

③ 一般の方たち向けのワークショップなどの開催

④ 支部内定例会議

⑤ 支部主催でビジネスマナーなどのレクチャーセミナー開催

Ⅱ．収支予算（案）

収支予算(案)（2025年4月1日～2026年3月31日）（別紙）

406 一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会
（様式１－１）

貸借対照表

令和 7 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	11,119,205	10,949,590	169,615
前払金	567,171	533,721	33,450
流動資産合計	11,686,376	11,483,311	203,065
２．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	1,303,269	1,366,624	-63,355
敷金	402,660	402,660	0
その他の固定資産合計	1,705,929	1,769,284	-63,355
固定資産合計	1,705,929	1,769,284	-63,355
資産合計	13,392,305	13,252,595	139,710
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	915,934	1,533,684	-617,750
前受金	2,601,000	2,807,000	-206,000
預り金	105,704	57,774	47,930
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	3,692,638	4,468,458	-775,820
２．固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,692,638	4,468,458	-775,820
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産			
(1) 代替基金	800,000	800,000	0
(2) その他一般正味財産	8,899,667	7,984,137	915,530
一般正味財産	9,699,667	8,784,137	915,530
正味財産合計	9,699,667	8,784,137	915,530
負債及び正味財産合計	13,392,305	13,252,595	139,710

406 一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会
（様式２－１）

正味財産増減計算書

令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	168,000	130,000	38,000
受取入会金	148,000	110,000	38,000
トップＩＣ入会金	20,000	20,000	0
受取会費	8,621,500	7,841,000	780,500
一般会員受取会費	1,200,000	1,256,000	-56,000
ビジネス会員受取会費	3,086,500	2,955,000	131,500
賛助会員受取会費	4,285,000	3,620,000	665,000
トップＩＣ更新費	50,000	10,000	40,000
事業収益	2,780,390	2,609,120	171,270
セミナー事業収益	1,369,100	513,600	855,500
委託事業収益	607,000	1,384,000	-777,000
本部配賦金収益	770,000	700,000	70,000
物品販売収益	34,290	1,520	32,770
受取寄付金	497,955	530,000	-32,045
協賛金収益	497,955	530,000	-32,045
雑収益	453,450	342,039	111,411
受取利息	5,200	89	5,111
雑収益	448,250	341,950	106,300
経常収益計	12,521,295	11,452,159	1,069,136
(2) 経常費用			
事業費	6,744,007	5,340,661	1,403,346
研修費	174,170	94,810	79,360
旅費交通費	554,163	413,979	140,184
通信運搬費	75,905	19,369	56,536
支払手数料	116,846	90,482	26,364
消耗品費	350,469	28,917	321,552
印刷製本費	186,495	128,622	57,873
賃借料	126,386	93,285	33,101
保険料	552,620	514,580	38,040
諸謝金	56,000	147,000	-91,000
委託費	1,537,560	1,888,400	-350,840
業務委託費	1,399,529	631,072	768,457
宣伝広告費	24,300	525,800	-501,500
会議費	710,129	10,609	699,520
支部配賦金支出	770,000	700,000	70,000
雑費	109,435	53,736	55,699
管理費	4,791,758	4,406,643	385,115
雑給与	1,263,648	1,240,560	23,088
福利厚生費	3,691	4,277	-586
会議費	397,432	338,050	59,382
旅費交通費	93,160	105,480	-12,320
通信運搬費	298,487	195,933	102,554
支払手数料	631,438	587,452	43,986
消耗品費	115,008	233,297	-118,289
印刷製本費	32,779	39,464	-6,685
業務委託費	330,000	0	330,000
賃借料	81,510	42,020	39,490
租税公課	10,000	42,900	-32,900
家賃	885,852	885,852	0
宣伝広告費	315,538	491,831	-176,293
減価償却費	308,105	174,227	133,878

雑費	25,110	25,300	-190
経常費用計	11,535,765	9,747,304	1,788,461
評価損益調整前経常増減額	985,530	1,704,855	-719,325
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	985,530	1,704,855	-719,325
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	225,134	-225,134
経常外費用計	0	225,134	-225,134
当期経常外増減額	0	-225,134	225,134
当期一般正味財産増減額	985,530	1,479,721	-494,191
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産増減額	915,530	1,409,721	-494,191
一般正味財産期首残高	8,784,137	7,374,416	1,409,721
一般正味財産期末残高	9,699,667	8,784,137	915,530
Ⅲ　正味財産期末残高			
正味財産期末残高	9,699,667	8,784,137	915,530

監査報告書

一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会

代表理事　北谷　明日香　殿

監事 島田信照及び廣瀬直樹は、一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会の定款第28条の規定に基づき、当法人の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、事業報告及びこれらの附属明細書の監査を行った結果、何れも適法かつ正確であることを認めます。

令和 7 年 5 月 9 日

監事　島田　信照　㊞

監事　廣瀬　直樹　㊞

2025年度収支予算案　　250506

Ⅰ一般正味財産増減の部

単位：千円

	合計	本部	東京圏支部	北陸支部	中四国支部	備考
経常収益	9,860	8,830	560	230	240	
（1）受取入会金	160	160	0	0	0	
入会金	140	140	0	0	0	新規入会35人(前期25、後期10)
トップIC登録料	30	30	0	0	0	新規1人+更新1人
（2）受取会費	8,400	8,400	0	0	0	
正会員会費	4,200	4,200	0	0	0	上期300人、下期320人
賛助会員会費	4,200	4,200	0	0	0	74社
（3）事業収益	1,300	270	560	230	240	
CPD収益	300	0	100	100	100	
受託事業収益	1,000	1,000	0	0	0	諸事業、委託金他
配賦金	0	▲ 730	460	130	140	
経常費用	9,817	8,787	560	230	240	
（1）事業費	4,764	3,784	510	230	240	
諸事業費	1,280	600	410	130	140	受託事業他経費
CPD経費	300	0	100	100	100	
イベント費	600	600	0	0	0	イベント出展他（GLF,モクコレ）
研修費	120	120	0	0	0	活動グループ費（20 x 6グループ／年）他
事業共通経費	80	80				Zoom費用、遠方理事交通費　　管理費？
Div.活動費	1,916	1,916	0	0	0	企画436、ビジネス300、能力310、広報640、流通230
賠償責任保険料	468	468	0	0	0	B会員対象　2025年度
（2）管理費	4,503	4,503	0	0	0	
雑給与	1,630	1,630	0	0	0	週4日x50週、5.5時間/日、@1,200　　労働保険10　　事務局長：300(千)
会議費	50	50	0	0	0	
旅費交通費	100	100	0	0	0	事務局交通費
通信運搬費	160	160	0	0	0	
支払手数料	580	580	0	0	0	税務関連
消耗品費	100	100	0	0	0	
修繕費	200	200	0	0	0	HP保守・改修
印刷製本費	80	80	0	0	0	
賃借料	50	50	0	0	0	会議室使用料
家賃	886	886	0	0	0	@¥73,821/月
宣伝広告費	360	360	0	0	0	サーバー、ドメイン更新料他
減価償却費	287	287	0	0	0	HP改訂2024年130万(償却5年)287,710
雑費	20	20	0	0	0	
（3）予備費	550	500	50	0	0	
当期経常増減額	43	43	0	0	0	
法人税、住民税、事業税	70	70	0	0	0	
一般正味財産増減額	▲ 27	▲ 27	0	0	0	
一般正味財産期首残高	9,699	9,699	0	0	0	
一般正味財産期末残高	9,672	9,672	0	0	0	
Ⅱ基金増減の部⇒代替基金として80万円分を残高として確保しておくこと。						
基金返還額	0					※2021年度中に80万円全額返還済み
基金増減額	0					
基金期首残高	0					
基金期末残高	0					

Ⅲ正味財産期末残高

正味財産期末残高	9,672					